

平成30年度事業報告

平成30年度の兵庫県防犯協会連合会（以下、県防連と表記）の事業運営につきまして、これまでと同様に公益法人関連法等を遵守し運営しており、県内54単位防犯協会による防犯ボランティア活動の支援や単位協会間の調整役としての機能の発揮に努め、各種事業を推進いたしました。

さて、平成30年度の日本を取り巻く世界の情勢を見ますと、英国のEU離脱の動きや、フランスの政情不安、米国と北朝鮮の協議の不調、更に米国と中国の貿易戦争といえるほどの貿易摩擦が起こっており日本の経済にも影響を及ぼしているなど、国際情勢は緊迫の度合いを高めました。

国内的には、天皇陛下の御退位と新天皇の御即位、「平成」から「令和」への改元で新しい時代への明るい祝賀ムードがあるものの、昨年は、オウム死刑囚等の死刑執行、日産ゴーン会長の逮捕など時代の移り変わりを見、6月の大阪北部地震では小学校4年生の女兒が倒壊したブロック塀の下敷きになり、7月の西日本豪雨でも多数の犠牲者が出るなど、災害の年でもありました。

兵庫県内に目を転じますと、10月に神戸市長田区内の住宅街での発砲事件、この4月には中央区内商店街で暴力団組長に対する殺人未遂事件の発生など、法を無視する暴力団の危険性を示すとともに、壊滅すべき対象であることを改めて示した事件が発生しております。刑法犯の認知件数が平成14年に16万数千件あったものが、昨年は4万数千件に激減するなど良好な数字がある一方、警察の取締りや各種啓発活動にも関わらず、オレオレ詐欺、還付金詐欺に代表されるいわゆる特殊詐欺被害が後を絶ちません。被害者は高齢者を中心としたもので、地域社会としても守っていかなければならない方々です。

防犯協会は地域の「安全・安心」のために地域住民に密着した地道な防犯ボランティア活動を行っており、その重要性は一層増していると考えるところであります。

このような状況の中、県防連では、平成30年度も犯罪被害の減少と、「安全で安心して暮らせるまち」の実現を目指し、引き続き「みんなで作ろう安心のまち」をスローガンとして、

- ・ 防犯組織の拡充強化と地域安全活動の推進
- ・ 少年の健全育成及び非行防止活動の推進
- ・ 覚醒剤等薬物乱用防止及び拳銃等銃器使用犯罪の根絶に関する活動の推進
- ・ 暴力団追放運動の推進
- ・ 防犯優良マンション・防犯設備優良住宅認定制度の促進

を図るため、警察をはじめ、関係機関・団体等と連携・協働しながら、下記のとおり各

種事業を推進しました。

記

第1 定例会の開催

1 第20回理事会

平成30年6月4日午後、兵庫県民会館において、来賓に瀬尾参事官兼生活安全企画課長をお迎えして開催し、平成29年度事業報告、平成29年度収支決算報告、第11回定時総会日程、正会費額の見直し、賛助会員の入会について審議され、原案どおり承認されました。

また、報告事項として、会長、副会長及び専務理事の職務執行状況報告、事務局長の採用、理事及び監事候補者の選任案、会長感謝状の贈呈について報告しました。

2 第11回定時総会

平成30年6月19日午後、兵庫県民会館において、来賓に福本生活安全部長をお迎えして開催し、平成29年度事業報告、平成29年度決算報告、理事及び監事の選任、正会費額の見直しについて審議され、原案どおり承認されました。

また、報告事項として、平成30年度事業計画、平成30年度予算、事務局長の採用及び新単位協会会長の就任について報告しました。

3 第21回理事会

平成30年6月19日第11回定時総会后、兵庫県民会館において、会長、副会長及び専務理事の選定の件について審議され、原案どおり承認されました。

4 第22回理事会

平成31年3月1日午後、兵庫県民会館において、来賓に瀬尾生活安全部参事官兼生活安全企画課長をお迎えして開催し、平成30年度補正予算案、平成31年度事業計画案、平成31年度収支予算案等について審議され、原案どおり承認されました。

また、報告事項として、会長、副会長及び専務理事の職務執行状況、賛助会員の入会、新単位協会会長の就任、第12回定時総会の開催日程等の報告を行いました。

5 平成30年防犯功労者等表彰式

平成30年6月19日午後3時から、兵庫県民会館において、来賓に松森兵庫県女性部長、小藤兵庫県地域安全課長、福本兵庫県警察生活安全部長等をお迎えして開催しました。

武内県防連会長の挨拶、松森兵庫県女性生活部長の御祝辞の後、下記の皆様に対して表彰状の授与及び感謝状の贈呈を行いました。

① 優良防犯団体表彰：灘防犯協会岩屋支部 以下18団体

② 善行青少年団体表彰：神戸市立王塚台中学校家庭科部、淡路市立大町小学校児童会

③ 善行青少年個人表彰：葺合防犯協会 鹿子嶋将様、淡路防犯協会 原睦子様

④ 防犯功労者表彰：東灘防犯協会 藤原徹之様 以下70名

⑤ 防犯功労警察官感謝状：警察本部生活安全企画課 仲正志様 以下15名

合計20団体87名

6 防犯協会職員研修会及び意見交換会

平成31年1月30日午後2時から、兵庫県民会館において、来賓に平田生活安全企画課補佐、北垣少年課補佐をお迎えし、武内会長出席の下、県下単位防犯協会職員に対する研修会を開催しました。

今回は、平田生活安全企画課補佐から、最近の県下の犯罪情勢、防犯対策、防犯ボランティア活動について、北垣少年課補佐からは少年非行の現状と少年の健全育成について、それぞれ講義を頂き、今後の防犯活動の糧としました。

また、平成30年度は地区防犯協会の事務職員多数の交替があったことから、以後、相互に連携強化を図っていただき、お互いに助言や協力を得られる雰囲気醸成することを目的として、新たに着任した事務局職員の自己紹介と質疑応答を行い、その親睦、融和と平素の疑問点等の解消に努めました。

なお、研修会終了後、会長の参加を頂き、単位防犯協会職員有志、県防連職員による懇親会を開催しました。平素接触することのない会長と単位協会の職員が親睦を深めるとともに、職員同士もお互いに平素の業務に係る悩み等について意見交換を行うなど、有意義な時間を持つことが出来ました。

第2 事業概要

1 県防連事務局の自主事業

(1) 防犯ポスター・防犯標語コンクールの実施

平成30年6月8日、兵庫県民会館において、神戸市立神戸山手中学校美術担当教諭、県警察生活安全企画課担当者、同少年育成課担当者、県防連専務理事等を審査委員として実施しました。

結果は下表のとおりです。

テーマ	区分	防犯ポスターの部		防犯標語の部	
		応募総数	全防連推薦数	応募総数	全防連推薦数
安全安心なまちづくり～犯罪なくしてみんなの笑顔		38	6	241	6
暴力団への加入阻止		29	6	77	7
計		67	12	318	13
参考事項		県防連では、テーマごとに最優秀1点、優秀2点、佳作3点を選出し、会長名で表彰しました。			

(2) 善良な風俗の保持及び風俗環境浄化事業の推進（収益事業）

9	0	0	0	0	0	27	0	① 27
10	0	0	0	6	13	2	0	① 21
11	0	0	0	0	43	0	0	① 43
12	0	0	0	6	15	5	0	① 26
1	0	0	0	0	0	0	0	—
2	0	0	0	0	72	6	0	① 78
3	0	0	0	0	0	0	0	—
計	0	0	0	12	143	84	0	⑥ 239

(3) 兵庫県防犯優良マンション認定制度事業

本事業は、「地域安全まちづくり条例」（平成18年兵庫県条例第3号）に基づく「犯罪の防止に配慮した住宅及び住宅地の構造、設備に関する指針」に基づいて、犯罪に遭いにくい構造・設備の基準を充足した集合住宅（マンション）を「防犯優良マンション」に認定し、防犯性の高い安全快適な住宅環境を提供する制度として、平成19年度に運用を開始し、平成30年度末までに計125件を認定しています。その進捗状況は下表のとおりです。

* 認定実施機関

- ① 公益財団法人 兵庫県住宅建築総合センター
- ② N P O 法人 兵庫県防犯設備協会
- ③ 公益社団法人 兵庫県防犯協会連合会

【 進 捗 状 況 】

区分/年度	26	27	28	29	30年度	19～31計
申請件数	8	7	6	3	1	128
認定件数	13	7	7	5	6	125

注) 申請年度と認定年度は建設期間があるため合致しません。

(4) 兵庫県防犯設備優良住宅認定制度事業

本事業は、兵庫県防犯優良マンション認定制度に準ずるものとして、「地域安全まちづくり条例」及び「犯罪の防止に配慮した住宅及び住宅地の構造、設備に関する指針」に基づいて、兵庫県防犯優良マンション認定制度の対象外である戸建て住宅等を対象として、防犯優良建物部品等を取り入れるなど必要な防犯対策を施した住宅を「防犯設備優良住宅」として認定し、防犯性能に優れた住宅を提供する制度として、平成29年6月12日から運用を開始しましたが、平成30年度末では計2件の認定に止まっています。

* 認定実施機関

- ① N P O 法人 兵庫県防犯設備協会
- ② 公益社団法人 兵庫県防犯協会連合会

(5) 兵庫県防犯優良駐車場登録制度事業

平成23年度にNP0法人兵庫県防犯設備協会との合同事業としてスタートした事業ですが、25年度以降の申請はありません。

(6) 第31回兵庫県警察少年柔道・剣道大会の開催

平成30年8月8日、兵遊協福祉基金及び(一財)武井スポーツ育英会からの寄附金を活用し、グリーンアリーナ神戸において、柔道24チーム計156人、剣道46チーム計306人、合計462人の選手が出場し、保護者ら延べ約2,000人の観衆の中、熱戦が繰り広げられ、大きな応援と拍手が送られました。結果は次表のとおりです。

区分	優勝	準優勝	第3位		敢闘賞
柔道	社柔道少年団	兵庫少年こだま会柔道部	西宮柔道	姫路中央柔道教室	長田柔道会、伊丹柔道協会、竜野若竹会、相生警察
剣道	加古川警察少年剣道会	相生警察署	やまびこ会	あぼし剣友会	須磨警剣修会、社剣道スポーツ少年団、南あわじ署、妙法寺少年剣道クラブ

(7) 企業対象の情報セキュリティセミナーの共同開催

県警サイバー犯罪対策課では、平成26年度から開催している企業対象の情報セキュリティセミナーを平成30年度も開催し、県防連としては賛助会員企業への開催案内を发出了しました。警察本部担当者からサイバー犯罪の現状について説明が行われたほか、セキュリティ専門家による講演等を通じて、情報セキュリティ対策の普及啓発に努めました。

(8) 地域安全運動プレイベントの開催支援

平成30年10月11日から10日間実施された「全国地域安全運動」のプレイベントとして、10月6日「ららぽーと甲子園」において、全国地域安全運動の啓発イベントを開催しました。当日は、県警生活安全部・県民広報課県警音楽隊・甲子園警察署・県地域安全課と県防連が協働して開催、ゲストに元阪神タイガースキャプテン狩野恵輔氏を迎え広報啓発活動を行い地域安全運動の浸透と防犯活動の必要性を訴えるとともに、防犯意識の高揚に努めました。

(9) 「特殊詐欺被害に対する防犯力を高めるための講習会」の開催

警察本部生活安全企画課では、地域安全運動初日となる平成30年10月11日、激増する特殊詐欺被害の防止を目的として、県民会館において、「特殊詐欺被害に対する防犯力を高めるための講習会」と題して、特殊詐欺の現状説明、防犯優良機器(電話機等)の展示紹介、落語家による防犯講話を内容とする講習会を開催、県防連では、神戸、阪神地区(一部)及び明石の各単位防犯協会会員の参加を呼びかけ、当日は多数の会員皆様の参加を得て、特殊詐欺についての現状認識を新た

にするとともに知見を深めることができ、また、単位協会における今後の防犯活動への大きな参考となりました。

(10) 防犯カメラの設置促進

犯罪発生後の被疑者検挙のみならず、犯罪抑止力としても大きな力を発揮している防犯カメラの有用性は論をまたず、平成30年度においても兵庫県から500台分、神戸市を始め他の自治体においても防犯カメラ設置補助金が交付され設置を推進し、自主事業としての防犯カメラの設置が進められております。県民、市民の安全確保と安心感の提供のために、今後とも各自治体による積極的な支援が継続されることを期待するところであります。

なお県防連専務理事は、兵庫県の防犯カメラ選定審査委員となっており、防犯カメラの適正な設置場所の選定等に関して助言等に努めました。

(11) ひょうごふれあいランニングパトロールへの協賛

地域防犯パトロール推進プロジェクトとして、平成30年4月に、兵庫県警察本部、アシックス、神戸新聞社が主体となって「ひょうごふれあいランニングパトロール」が発足しました。同活動は、自主的なランニングを通じて、地域の安全・安心を見守るボランティア活動です。その趣旨に賛同し県防連、神戸防犯協会ともに活動を支援しました。

(12) 学生ボランティア活動支援

7月、10月に開催されました「兵庫県学生ボランティア連携会議」、11月に尼崎市で開催されました「近畿学生ボランティア交流会」、2月に東京で開催されました「全国学生ボランティア研修会」での運営費、交通費等を支援しました。

(13) 少年の健全育成と有害環境の排除活動等支援

ア 機関紙・ポスター・地域安全ニュース等の発行等

- ① 機関誌「愛のともしび」(年2回計43,500部)
- ② 「あひるのおやこ」(チラシ50,000枚、クリアーファイル5,000枚)
- ③ ネット被害防止ハンドブック(3,440冊)
- ④ 防犯啓発ポケットティッシュ(46,500個)
- ⑤ 金融機関への犯罪防止啓発小冊子「金融機関の防犯」(5,000冊)
- ⑥ 少年補導員広報紙「みちびき」(11,664冊)

イ 少年の健全育成事業「立ち直り」支援事業への支援

フットサル、登山、ヨガなどの機会を与え、体を動かすことで心身の健全な少年らの立ち直りを図ることを目的とした支援活動に助成しました。

(14) 薬物乱用防止及び拳銃等銃器使用犯罪の根絶に関する活動の支援

違法銃器根絶・薬物乱用の防止に向けた街頭キャンペーンの実施

広報啓発用のクリアーファイル2,500枚、ボールペン1,000本を警察本部薬物銃

器対策課とともに作成し街頭キャンペーン等で活用しました。

(15) 県警キャラクター「まもりちゃん」着ぐるみの貸し出し

平成26年度に購入した「まもりちゃん」の着ぐるみは、県警県民広報課へ貸与しており、平成30年度中、23回、延べ111日間、各種行事、キャンペーン等で活用されており、警察と市民の架け橋役として有効に活用されています。現時点での着ぐるみの破損等はありません。

(16) 関係機関・団体との連携

平成30年度も例年どおり、県企画県民部地域安全課、同健康福祉部健康局薬務課、神戸市危機管理室、神戸市住宅都市局住宅部住宅政策課及び警察本部組織犯罪対策局組織犯罪対策課、同生活安全部生活安全企画課、生活環境課、少年課、サイバー犯罪対策課並びに防犯関連の各種団体・機関と連携し防犯活動に当たりました。

(17) 近年の賛助会員年度別入会状況

(金額の単位：万円)

年度	25	26	27	28	29	30年度
入会数	5	3	4	3	4	7
金額	10	5	27	3	5	11

2 単位防犯協会との共同事業等

(1) 組織の整備と活動の活性化

ア 単位防犯協会支部等の活動

各単位防犯協会においては、各支部長を中心として、地元自治会、防犯ボランティア団体等との「防犯パトロール、街頭キャンペーン」を実施し、組織力の拡大と活動の強化を図りました。

県防連では、本活動を支援するため、「ラジオ関西」のスポット放送(80秒)として「防犯一言コメント」を月6本、年間72本を流しています。

イ 防犯連絡所

防犯連絡所は、警察と地域住民とのパイプ役となるために昭和31年に全国的に組織された歴史ある組織ですが、「地域ふれあいの会」、「警察署協議会」「110番の家」などの同趣旨の組織が発足し、最近の社会情勢からも役割が縮小してきております。全国的な組織である反面、地域に根差したもので地域間格差も顕著な状況があります。県下一律に現行の防犯連絡所の制度が必要であるかは検討の余地がありますが、県下だけではなく全国的な問題であり、現時点では現状の推移を見守っていくのが妥当と判断しております。

ウ 少年保護活動の推進

「県防連会長」が委嘱した県下の少年補導員2,666名が、子どもの登下校時における見守り活動並びに有害広告物の除去や青少年健全育成を目的に、年間を通じて街頭補導活動を実施しました。

また、平成30年7月2日午後から兵庫県民会館において、少年補導功労者・同団体に対する表彰式を開催し、計12名、4団体に対して兵庫県少年補導員連絡協議会会長表彰を授与しました。

エ 兵庫県教育委員会主宰の「トライやる・ウィーク」については、県防連単独での対応はないものの、関係機関、警察署への支援は単位協会が対応しています。

(2) 総合的な地域安全活動等自主防犯意識の普及促進

ア 自主防犯意識の高揚

侵入犯罪やひったくり等の街頭犯罪、オレオレ詐欺、還付金詐欺を始めとするいわゆる特殊詐欺被害の防止を図るため、各単位防犯協会が各警察署と協働し、自治会、町内会を始め、PTA、婦人会、子供会等に防犯対策等の情報を発信して自主防犯意識の高揚に努めました。

イ 平成30年地域安全運動兵庫県民大会の共同開催

平成30年10月17日午後、兵庫県公館において、参加者約500人の中、県知事、県警察本部長等の御臨席を得て県民大会を開催しました。

主催者である会長等の挨拶・来賓紹介に続き、(公財)全国防犯協会連合会金章4名、同銀章8名、同銅章24名、同団体表彰1団体、近畿防犯協会連絡協議会表彰14名及び同団体表彰2団体に対して表彰の伝達、授与が行われました。

各種表彰の後、県議会議長、公安委員長の祝辞、最後に、姫路防犯協会城南支部長藤田喜宏さんが代表して「人とのつながりや関係機関との連携を大切に、犯罪の起きにくい社会づくりに向けて地域ぐるみで取り組む。」旨の大会宣言をもって第1部を締めくくり、第2部は株式会社ステップ総合研究所主任研究員堤紘子さんによる「今こそ考える犯罪からの子どもの安全～事件現場は語る～」の御講演がありました。

この他、伊丹市市民大会など各単位防犯協会においても、自治体等と連携して、地域実態に応じた「住民安全大会」等を開催し、地域安全運動を盛り上げました。

(3) 暴力団追放運動の推進

平成30年11月7日神戸文化ホールにおいて開催された「平成30年度暴力団追放兵庫県民大会」には、瀬戸内沿線を中心に県下の単位防犯協会長を始め、多数の協会の参加をいただき、兵庫県民の暴力団追放意識の高揚に努めました。

平成30年度決算報告

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科	目	当 年 度	前 年 度	増 減
I	資 産 の 部			
	1 流 動 資 産			
	現 金 預 金	16,287,970	16,449,133	-161,163
	未 収 金	150,522	415,281	-264,759
	流 動 資 産 合 計	16,438,492	16,864,414	-425,922
	2 固 定 資 産			
	(1) 特 定 資 産			
	退 職 給 付 引 当 金 預 金	346,835	46,835	300,000
	特 定 資 産 合 計	346,835	46,835	300,000
	(2) そ の 他 の 固 定 資 産			
	什 器 備 品	81,724	164,643	-82,919
	投 資 有 価 証 券	3,000,000	3,000,000	0
	そ の 他 の 固 定 資 産 合 計	3,081,724	3,164,643	-82,919
	固 定 資 産 合 計	3,428,559	3,211,478	217,081
	資 産 合 計	19,867,051	20,075,892	-208,841
II	負 債 の 部			
	1 流 動 負 債			
	未 払 金	149,086	73,440	75,646
	預 り 金	589,937	807,692	-217,755
	流 動 負 債 合 計	739,023	881,132	-142,109
	2 固 定 負 債			
	退 職 給 付 引 当 金	346,835	46,835	300,000
	固 定 負 債 合 計	346,835	46,835	300,000
	負 債 合 計	1,085,858	927,967	157,891
III	正 味 財 産 の 部			
	1 指 定 正 味 財 産	0	0	0
	2 一 般 正 味 財 産	18,781,193	19,147,925	-366,732
	(うち特定資産への充当額)	(346,835)	(46,835)	(300,000)
	正 味 財 産 合 計	18,781,193	19,147,925	-366,732
	負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	19,867,051	20,075,892	-208,841

正味財産増減計算書

自平成30年4月1日
至平成31年3月31日

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	3,422,000	3,478,000	-56,000
賛助会員受取会費	5,420,000	5,510,000	-90,000
事業収益			
防犯優良マンション事業収益	189,000	506,880	-317,880
風俗環境浄化受託事業収益	2,320,052	3,262,155	-942,103
認証シール事業収益	5,615,000	5,645,000	-30,000
注意喚起表示板犯罪事業収益	0	1,000	-1,000
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	3,120,000	3,120,000	0
少年補導員受託収益	4,300,776	4,302,000	-1,224
受取寄付金			
受 取 寄 付 金	5,204,000	3,750,000	1,454,000
雑収入			
受 取 利 息	148	155	-7
有 価 証 券 利 息	16,800	16,800	0
雑 収 入	165,000	152,060	12,940
経 常 収 益 計	29,772,776	29,744,050	28,726
(2) 経常費用			
事業費			
給 料 手 当	12,678,210	13,363,240	-685,030
退 職 給 付 費 用	653,000	561,000	92,000
福 利 厚 生 費	2,144,488	2,138,101	6,387
旅 費 交 通 費	408,300	386,940	21,360
通 信 運 搬 費	642,032	706,572	-64,540
減 価 償 却 費	82,919	132,393	-49,474
消 耗 品 費	350,056	284,689	65,367
印 刷 製 本 費	1,111,104	1,227,042	-115,938
光 熱 水 料 費	688,144	830,165	-142,021
賃 借 料	708,441	736,116	-27,675
保 険 料	976,302	971,927	4,375
諸 謝 金	57,480	60,000	-2,520
租 税 公 課	585,700	606,400	-20,700
支 払 負 担 金	204,200	201,188	3,012
少 年 補 導 員 活 動 費	1,333,000	1,333,000	0
支 払 寄 付 金	10,000	10,000	0
普 及 宣 伝 費	3,675,730	2,481,615	1,194,115
車 両 運 搬 費	33,417	73,932	-40,515
雑 費	2,484	2,484	0
事 業 費 計	26,345,007	26,106,804	238,203

科	目	当	年	度	前	年	度	増	減
管理費									
	給料手当	999,990			1,049,810				-49,820
	退職給付費用	55,000			55,000				0
	福利厚生費	193,133			199,990				-6,857
	会議費	569,099			548,122				20,977
	旅費交通費	212,990			217,610				-4,620
	通信運搬費	199,994			188,692				11,302
	消耗品費	217,277			328,904				-111,627
	印刷製本費	19,580			99,440				-79,860
	光熱水料費	69,000			67,000				2,000
	賃借料	48,000			58,000				-10,000
	諸謝金	144,972			155,188				-10,216
	租税公課	104,300			101,900				2,400
	負担金	859,960			872,188				-12,228
	雑費	101,206			132,773				-31,567
	管理費計	3,794,501			4,074,617				-280,116
	経常費用計	30,139,508			30,181,421				-41,913
	当期経常増減額	-366,732			-437,371				70,639
2	経常外増減の部								
(1)	経常外収益								
	経常外収益計	0			0				0
(2)	経常外費用								
	経常外費用計	0			0				0
	当期一般正味財産増減額	-366,732			-437,371				70,639
	一般正味財産期首残高	19,147,925			19,585,296				-437,371
	一般正味財産期末残高	18,781,193			19,147,925				-366,732
II	指定正味財産増減の部								
	当期指定正味財産増減額	0			0				0
	指定財産期首残高	0			0				0
	指定正味財産期末残高	0			0				0
III	正味財産期末残高	18,781,193			19,147,925				-366,732

財 産 目 録

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	場 所 ・ 数 量	使 用 目 的 等	当 年 度
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
(1) 現 金 預 金			
手 持 現 金	手 元 保 管	運 転 資 金 と し て	50,000
普 通 預 金	三井住友銀行神戸公務部	運 転 資 金 と し て	1,439,595
	三井住友銀行神戸公務部	運 転 資 金 と し て	44,760
	三井住友銀行兵庫県庁出張所	運 転 資 金 と し て	502,518
	三井住友銀行兵庫県庁出張所	運 転 資 金 と し て	512,347
	兵庫県警察信用組合本店	運 転 資 金 と し て	1,906,126
	みずほ銀行神戸支店	運 転 資 金 と し て	11,832,624
現金預金合計			16,287,970
(2) 未 収 金	正会費・環境受託収入3月分		150,522
流動資産合計			16,438,492
2 固 定 資 産			
(1) 特 定 資 産			
退職給付引当金預金	三井住友銀行神戸公務部		346,835
特定資産合計			346,835
(2) その他の固定資産			
什 器 備 品	パ ソ コ ン 4 台	各 事 業 に 使 用	75
	シ ュ レ ッ ダ ー 1 台	各 事 業 に 使 用	1
	まもりちゃん着ぐるみ1体	公 益 目 的 事 業	81,648
投資有価証券	第398回大阪府公募公債(10年)	公 益 目 的 事 業	3,000,000
その他の固定資産計			3,081,724
固定資産合計			3,428,559
資 産 合 計			19,867,051
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金			149,086
預 り 金		マ ン シ ョ ン 申 請 料 ・ 社 会 保 険 料 ・ 所 得 税	589,937
流動負債合計			739,023
2 固 定 負 債			
退職給付引当金			346,835
固定負債合計			346,835
負 債 合 計			1,085,858
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			0
2 一 般 正 味 財 産			18,781,193
(うち特定資産への充当額)			(346,835)
正 味 財 産 合 計			18,781,193
負債及び正味財産合計			19,867,051

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券の保有区分は満期保有目的であり、「総平均法による原価法」によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品の減価償却は、定率法による。

(3) 引当金の計上基準

退職給与引当金

平成24年11月に中小企業退職金共済に加入し、当年度分掛金は各事業会計から支出している。
専務理事の引当金については規程に基づき積み立てている。

(4) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	46,835	300,000	0	346,835

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
退職給付引当資産	346,835	0	300,000	346,835

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ノートパソコン	708,589	708,514	75
シュレッダー	199,500	199,499	1
着ぐるみ	756,000	674,352	81,648
計	1,664,089	1,582,365	81,724

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
兵庫県補助金	兵庫県	0	3,120,000	3,120,000	0

付属明細書

1 特定資産の明細

区分	科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産	退職給付引当資産	46,835	300,000	0	346,835

2 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	46,835	300,000	0	0	346,835